

代謝内分泌内科

主な対象疾患

糖尿病：1型糖尿病、2型糖尿病 など

内分泌疾患

下垂体疾患：先端巨大症、クッシング病、成人成長ホルモン分泌不全症

甲状腺疾患：バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎

副腎疾患：クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫

など

診療科の特徴

糖尿病の食事指導・運動指導・薬物治療を行います。

糖尿病患者さんに対し、看護師による生活指導や管理栄養士による食事指導、薬剤師によるインスリン自己注射指導、検査技術科による血糖自己測定指導など多くの部門と協力しチーム医療を提供しています。

糖尿病合併症に対しては、腎臓内科や眼科、循環器内科などと連携し管理にあたっています。

インスリン導入が必要な時は、状態によりますが外来でも導入が可能です。

内分泌疾患が疑われるときは各種負荷検査を行い診断し治療を行います。高血圧の原因として内分泌疾患である原発性アルドステロン症が注目されています。この疾患を疑われる患者さんを近隣の先生方からご紹介いただき、当院で検査・治療を行っています。

他科の協力を得て原発性アルドステロン症に対する副腎動脈サンプリングやバセドウ病に対するアイソトープ治療なども提供できる施設になっています。

近隣の医療機関と紹介・逆紹介で連携を取りながら診療にあたります。

メッセージ

月・火・木・金は常勤医、水曜日は非常勤医が完全予約制で外来を行っています。
治療に難渋している糖尿病や二次性高血圧が疑われる患者さんがいましたらご紹介下さい。

主任医長
森川 亮

診療実績

1. 外来

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
新患者数	167	129	181	223	200
外来総患者数	3,952	3,877	3,986	3,946	4,013

2. 入院

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
入院患者数	41	38	48	48	75
副科患者数	180	188	246	312	325

糖尿病:2021年は糖尿病入院患者31名(2020年は29名)

内分泌:手術を希望する原発性アルドステロン症患者さんに対する副腎静脈サンプリング検査を放射線科と連携し行っており、2021年は9名(2020年は12名)に施行しました。

医師紹介

主任医長 森川 亮 (もりかわ りょう)

2001年 愛知医科大学卒

日本内科学学会認定医

日本糖尿病学会専門医

日本内分泌学会専門医

医員 山本 由季 (やまもと ゆき)

2016年 筑波大学医学群卒

日本専門機構認定内科専門医

日本糖尿病学会専門医

内分泌代謝・糖尿病専門医

◆お問い合わせ◆

(株)日立製作所日立総合病院

地域医療連携室

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号

TEL: 0294-23-8343

FAX: 0294-23-8412